

事業評価のスケジュールについて

2019 (FY1)	2020 (FY2)	2021 (FY3)	2022 (FY4)	2023 (FY5)	2024 (FY6)	2025 (FY7)	2026 (FY8)	2027 (FY9)	2028 (FY10)	2029 (FY11)	2030 (FY12)	2031 (FY13)
			▼後									
元素戦略プロジェクト(研究拠点形成型) 【2012～2021】												
					▼中			▼中				▼後
データ創出・活用型マテリアル研究開発プロジェクト 10年先の社会像・産業像(カーボンニュートラルの実現、Society5.0の実現、SDGsの達成、資源・環境制約の克服、強靱な社会・産業の構築)の実現に重要な役割を果たす革新的な機能を有するマテリアルを効率的に創出することを目的とし、従来の試行錯誤型研究にデータ駆動型研究を取り入れた次世代の共同研究組織を形成し、研究開発を実施する。												
		▼中			▼中				▼後			
材料の社会実装に向けたプロセスサイエンスの構築 死蔵させずにマテリアルを社会実装するために、産学官が連携した体制を構築し、マテリアルを作り上げる工程で生じる諸現象の解明、制御技術の創出、プロセスの設計を一気通貫で取り組み、プロセスサイエンスの構築を目指す。												
			▼後									
ナノテクノロジープラットフォーム 【2012～2021】												
					▼中			▼中				▼後
マテリアル先端リサーチインフラ 我が国全体で高品質なマテリアルデータが持続的かつ効果的に創出・利活用されるマテリアルDXプラットフォーム構想を実現するため、重要技術領域ごとに強みを持つ先端設備群を有するハブと特徴的な装置・技術を持つスポークからなるハブ&スポークの体制を構築し、最先端設備の共用及びデータ収集・蓄積・構造化を実施する。												

▼中 : 中間評価 ▼後 : 事後評価

第12期で審議する研究開発課題

※このほか、必要に応じて新規・拡充課題について事前評価を実施